

I. 事業計画書

1. 調査研究事業

○運輸関係団体等からの委託により実施する事業

(1) 自動車事故防止セミナー（継続）

＜一般財団法人近畿陸運協会からの委託事業＞

主催は近畿運輸局。本セミナーは事業用自動車の事故防止対策の一環として平成19年度より毎年開催している。事業用自動車については、乗客の生命、顧客の財産を預かる運送のプロとして高度な安全性が求められるが、未だ運行中の重大事故が発生している。

このような状況を踏まえ、国土交通省の取り組みや様々な観点から考えられる事故防止策を披露し、事故防止の意識向上を図るために開催する。

(2) 運輸安全マネジメントシンポジウム（継続）

＜一般財団法人近畿陸運協会からの委託事業＞

近畿運輸局及び当センターの共催。平成18年から開始された「運輸安全マネジメント」の一層の普及・浸透・定着を図るため、基本的考え方や最近の情勢情報等を提供するとともに、事業者の安全に対する好事例発表等を通じて、より多くの道路運送事業者が安全度の向上に資する事を目的に開催する。

(3) 交通事業者向けバリアフリーサポートマネージャー研修(関西地区)（継続）

＜公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団からの委託事業＞

交通事業者（鉄道、バス等）を対象に、高齢者や障害者など移動制約者の安全で円滑な公共交通機関の利用を実現し理解を深めることを目的に、交通事業の従事者に接遇や介助の知識と技術を伝えるための研修（教育訓練）を3回実施する。

(4) 手話教室（継続）

＜公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団からの委託事業＞

交通事業従事者等の手話技能の習得による接遇向上及び聴覚に障害のある方々への理解促進を進めることにより、交通機関等における移動円滑化を図るために実施する。

なお、今年度より交通事業者に加えて、宿泊施設（ホテル、旅館等）や旅行代理店等の観光関係者へも対象を広げる。

(5) バリアフリー推進勉強会(関西地区)（継続）

＜公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団からの委託事業＞

交通バリアフリーを推進する上での課題等について、ハード・ソフト両面の個別テーマ毎に最新の動向を踏まえ、関係者等との意見・情報交換、そして、取り組みや理解の促進を目的に開催する。

(6) 兵庫県トラック協会環境対策及び広報誌作成等（継続）

＜一般社団法人兵庫県トラック協会からの委託事業＞

協会会員事業者の環境対策の促進と、荷主事業者、市民等協会外の関係者へ協会の取組みの周知、啓発等に関連する業務を行う。

(7) 地域公共交通活性化シンポジウム（継続）

＜一般財団法人近畿陸運協会、近畿バス団体協議会、近畿ハイヤータクシー協議会からの委託事業＞

主催は近畿運輸局。国土交通省では地域公共交通の支援を重要課題として位置付けており、本シンポジウムでは基調講演や事例紹介などにより、長引く新型コロナウイルス感染症の影響で収益悪化や運転士不足が加速したことにより、厳しい経営環境にある交通事業者の経営基盤の安定に資する事例などを発信することで、地域の関係者が連携・協働し、地域公共交通の維持・活性化に取り組む機運を醸成することを目的に開催する。

(8) 交通環境教室（継続）

＜一般財団法人近畿陸運協会からの委託事業＞

主催は近畿運輸局。子どもが成長していく中で通勤や通学などの場面でバスや鉄道といった地域公共交通機関を利用する機会が多くなることを踏まえ、小学生など次世代を担う子供達が実際にバスを利用・体験し、交通事業者から話を聞くことを通して、まちのバス交通について考え、環境問題や地域の交通問題に関心を持つきっかけを与えることを目的に開催する。

(9) 交通環境セミナー（継続）

＜一般財団法人近畿陸運協会からの委託事業＞

主催は近畿運輸局。本セミナーは、優良な環境対策や環境施策を展開する物流事業者、荷主企業等の取り組み等の発表をとおして、物流事業者や荷主企業に対し「国土交通グリーンチャレンジ」に位置づけられた各施策をより一層推進するための動機付けを促すことを目的に開催する。

(10) 交通・観光関係セミナー（新規）

＜株式会社キリックからの委託事業＞

2. 一般事業

(1) 懸賞論文の募集

次世代を担う大学生等の叡智を通して、関西圏における交通・運輸・観光等の一層の発展と地域社会の活性化に寄与することを目的として、懸賞論文を募集し、当センターが委嘱する審査委員により優秀論文を選定する。

また、後日に受賞論文の表彰式及び研究発表を開催する。

(2) 講演会、セミナー等の開催

賛助会員、業界団体、自治体、関係行政機関等の方々に対する時宜を得た情報提供に資するため、交通・運輸・観光等の現状、課題等のテーマを選定し、各界、各分野の有識者を講師として招聘し講演会等を開催する。

- ・サロンセミナー …………… 年1回開催
- ・新春講演会 …………… 年1回開催
- ・かんこうけんコロキウム …………… 年2回開催

(3) 「関西交通経済ポケットブック '25」の発行

昭和48(1973)年以来毎年発行している、関西を中心とした陸上、海上、航空等に関する統計を主体に取りまとめた「関西交通経済ポケットブック'25」を頒布する。(730冊発行予定)

(4) 情報発信の強化

①「関交研ニュースレター」

賛助会員をはじめとする関係者に当センターをより知っていただくために、各種講演会等の開催案内のみならず、当センターの業務内容等についてタイムリーな情報発信を行う。

②ホームページの活用

一般事業のスケジュール(予定)

年/月	内 容
令和7年6月	・懸賞論文募集 開始(~11月)
9月	・かんこうけんコロキウム
11月	・サロンセミナー
令和8年1月	・特別講演会 ・「関西交通経済ポケットブック'25」発行
2月	・懸賞論文審査委員会
3月	・かんこうけんコロキウム(懸賞論文表彰式・研究発表)

3. 新公益法人制度への対応

新公益法人制度(令和7年4月1日施行)のポイントである

- ① 財務規律の柔軟化・明確化
- ② 行政手続きの簡素化・合理化
- ③ 自律的ガバナンスの充実、透明性向上

に基づいて、より柔軟な事業展開及び更なる信頼を得られる事業運営を行う。

また、会計基準についても見直しがなされ「新会計基準(令和6年会計基準)」となったが、経過措置として令和9年度の事業年度までは「現会計基準(平成20年会計基準)」を適用できるため、令和7年度は現会計基準を適用する。新会計基準への準備が整い次第、新会計基準を適用することとする。